

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	介護計画書・アセスメント表・モニタリング表等、PDCAサイクルを明確にする書類の整備、また介護計画見直し時の会議議事録の整備が望まれる。計画にもとづいたサービス実施が明確になる記録の書き方についても、職員の周知が望まれる。	介護計画書作成に伴う一連のマニュアルを作成する。誰もが一目みて実践できる体制を作り実践する。	記録として実践状況を残すだけでなく、実践状況が一枚もので月毎にわかる用紙を作成する。一連の流れが明確になるよう計画作成担当者を中心にPDCAサイクルが明確になるようなマニュアルを作成する。記録の仕方については各職員へ管理者・介護支援専門員が教育・指導を行う。	10ヶ月
2	6	委員会議事録における、身体拘束適正化についての内容の明確化が望まれる。	身体拘束が無くても議事録には検討の内容を必ず記載する。	毎回の会議で検討された内容を、身体拘束の有無を問わず必ず議事録へ記載する。	1ヶ月
3	1	理念・基本方針をもとに事業所目標を設定し、その中に取り入れる事等、地域密着型サービスとしての意義を明示することが望まれる。	法人理念とは別にユニット毎に地域密着型サービスとしての意義を持った理念を作成する。	各ユニット毎に理念を作成し掲げる。 ・法人理念にも“地域満足度経営”を掲げているがより具体的に自分たちが出来る事・やるべき事を明確にし、作成し実践する。	12ヶ月
4	52	各フロアの季節感を取り入れたレイアウト	常時フロアでも季節感を感じながら生活が出来る環境を作る。	今まで主要な季節行事がある時のみ、飾り等実施していたが毎月季節感を感じる掲示物等を飾るようにする。ご入居者と一緒に考え実践する。	3ヶ月
5	8	成年後見制度に対する知識と理解を職員全員が一定の知識と理解が得られるように学ぶ機会づくりが望まれる。	各職員が成年後見人制度に対する理解があり、ご家族等、ご質問を受けた際にある程度説明できるようになる。	施設の年間研修に“成年後見人制度”を組み込む。	1ヶ月
6	4	運営推進会議にご利用者自身が参加出来ない。	短時間でも参加出来る環境を作る。	より参加しやすい環境を作るために、フロアでの開催も視野に入れ、環境整備を行う。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。